

原子力防災における広域避難対策等の検討概要

H25.1.9 新潟県

「県地域防災計画(原子力災害対策編)」

「実効性のある避難計画(暫定版)」

広域避難等に係る課題

「広域避難等対策ワーキングチーム」による検討

実効性のある避難のために

- 関係機関等の担当者による個別課題の集中検討
- 実際の住民避難をイメージした、日頃からの関係者間の連携強化
- 各組織の実務担当者により、課題ごとにワーキングチームを編成
(すべての市町村の担当者の方から、いずれかの班に所属していただいています。)

班	主要課題	検討概要
1	情報伝達・共有	○ 国、県、市町村及び住民間の情報伝達・共有体制
2	避難先マッチング	○ PAZ、UPZの市町村と受入市町村との事前マッチング
3	避難ルート、 広域移動手段	○ 移動手段の確保や、道路情報等の共有体制 ○ 避難方法のあり方
4	スクリーニング体制	○ スクリーニング体制や、要員確保の仕組み
5	緊急時モニタリング体制	○ モニタリング体制や、資機材・要員等確保の仕組み
6	被災地域の受援体制	○ 消防業務、スクリーニング業務等の受援体制
7	避難者の受入れ、 自主避難者への対応	○ 避難者の把握や、各種ケアの実施体制
8	安定ヨウ素剤	○ 備蓄・配布等の方法
9	災害時要援護者等	○ 受入施設を確保する仕組みや、屋内退避方法
10	物資調達、配送・備蓄	○ 物流確保の仕組みや、配送・備蓄方法